

| 平成 24 年度 第 6 回理事会 | |
|-------------------|---|
| 日時 | 開催日 平成25年 2 月 2 日 (土) |
| 出席者 | 理事長：木村了 理事：角田ふで子、石田佳子、犬走朱見、藤井由美 顧問：岩熊真起、酒井一江 監事：関矢英士 |
| 審議結果の概要 | (1) 審議 ・ 座談会 (株式会社 コトブキ) について 急な要請であったので、メール審議を経て対応 (経過報告。) 事業としての書類を整備することとした。 ・ その他 本法人の会員でもある木村弘子氏から、ODA 事業「ブータンハピネスフラワー」への「協力団体」としての協力要請に対して、協力団体として本法人の名前の使用は了解した。 (2) 報告 ・ 会員の入退会状況 (総務) ・ 各担当理事より部会活動報告があった。 広報：ニューズレター掲載で承諾がとれない学生の記事は網掛けとする。 企画：土壌の分解能力調査についての調査結果の説明及び協力者への報告方法 (結果概要を事務局より配信)、ポートフォリオ第 2 弾の冊子作りのメンバー・内容・印刷仕上がり等について説明。プロジェクトであることから各部会から 1 名の選出を依頼。 国際：INWES-J の活動報告及び ICWES16 のワークショップへの準備として早めに活動体制をくみたい。 事務局： 部会 HP の運営、5 月の総会に向けてのスケジュール確認、2012 全国高専女子フォーラムを後援等。 (3) その他 ・ 次回理事会 4 月 13 日 (土) 以上 |

| 平成 24 年度 第 5 回理事会 | |
|-------------------|---|
| 日時 | 開催日 平成 24 年 11 月 23 日 (金) |
| 出席者 | 理事長：木村了 理事：角田ふで子、石田佳子、犬走朱見、藤井由美 顧問：岩熊真起、酒井一江 監事：関矢英士 |

| | |
|----------------|---|
| <p>審議結果の概要</p> | <p>(1) 審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金獲得活動 広報部会主体で情報検索をしているが、今後は適宜フォローを行い、活動への参加意識を高める。 ・ 休業、フリー会員の洗い出し 会員向けにアンケートを実施し、会員の現状把握に努めるとともに、退会会員には往復はがき又はメールにて近況伺い等を展開する。 ・ 掲載承認が得られない学生の記事に関しては、紙ベースのニュースレターも考慮し、当該記事全体を削除した「改訂版」も視野に入れた編集方法を再検討する。 ・ ネットワークの拡大等を目的とし、男女共同参画を推進する企業及び団体を集めて勉強会を開催し交流を深める。 <p>(2) 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日韓女性技術士交流会は、シンポジウムにおける両発表ともエネルギーについての講演で非常にわかりやすく、良かった。また、文化交流（ミニお茶会）、食事会を通して交流が深まった（理事長）。 ・ サイエンスアゴラは、シンポジウムと兼ねて「おもしろまちづくり」をサイエンスアゴラ会場で「エコな暮らし」をテーマに体験型展示を行い予想を上回る参加者があった（藤井）。 ・ 会員の入退会状況、収支状況の報告があった（角田）。 ・ 各担当理事より部会活動報告があった。 <p>広報：助成事業公募案件に関する情報収集体制の整備 企画：ポートフォリオに関する企画、土壌調査のとりまとめに関する事項 国際：来年日中韓のフォーラム情報等 事務局： 技術サロンへの招待対象校、来年度のガイダンス協力は経年通り実施</p> <p>(3) その他：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本法人の活動拠点として地域自然情報ネットワークの事務所を借用することとした。 ・ 消費者専門委員会への会員の登録に関しては現在の J W E F からの連絡待ち状態。 <p>・ 次回理事会 2月2日（土） 以上</p> |
|----------------|---|

| | |
|-------------------|---|
| 平成 24 年度 第 4 回理事会 | |
| 日時 | 開催日 平成 23 年 10 月 1 日（月） |
| 出席者 | 理事長：木村了 理 事：石田佳子、角田ふで子、犬走朱見、藤井由美 |
| 審議結果の概要 | 審議結果の概要 (1) 審議 定款第 14 条の規定に基づき理事長を選定するため、理事全員の互選の結果、理事長に理事木村了を選定し、同人は就任を承諾した。 |

| | |
|--|--|
| | (2) 報告 なし (3) その他：次回理事会 11月23日午前 場所未定 以上 |
|--|--|

| | |
|---------|--|
| | 平成24年度 第3回理事会 |
| 日時 | 開催日 平成24年9月1日(土) |
| 出席者 | 理事長：岩熊まき(眞起) 理事：酒井一江、石田佳子、角田ふで子、木村了、氷上澄子 監事：関矢英士 |
| 審議結果の概要 | <p>審議結果の概要</p> <p>(1) 審議</p> <p>①24年度・25年度役員と執行体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人の代表者に関する法改正に基づき、当法人でも代表者のみ登記する。 ・役員の世界交代を目的として、岩熊まき(眞起)、酒井一江、氷上澄子より、平成24年9月30日付けで理事を退任したいとの申し出があり、協議の結果、これを全員の賛同にて承認した。 ・理事長岩熊より、後任の理事については、犬走朱見、藤井由美、以上2名の推薦があり、協議の結果、全員の賛同にて被推薦者犬走朱見、藤井由美2名の次期理事が承認された。なお、任期は、2名共、平成24年10月1日から平成26年5月31日まで。 ・犬走朱見、藤井由美、両名は同理事会に参席しており、両名は理事就任を承諾した。 <p>②今後の手続き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新執行委体制の交代手続き完了は10月中ごろとなるが、実質的な活動は先行して行うこととする。 <p>③平成24年事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日韓女性技術士交流会(平成24年10月17日(水)名古屋) 廣瀬氏がプロジェクトリーダーであり、計画並びに予算を作成中。開催地中部の平永氏と打ち合わせを進めている。講演者は川上紀子氏(東芝三菱電機産業システム株式会社)が承諾、参加者は15名前後と予測される。 ・サイエンスアゴラ(平成24年11月10日(土)11日(日)東京台場) 「おもしろいまちづくり 第5弾」として参加型エコゲームを行う。川崎市で実施の行事を参考としている。 <p>④外部資金について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金など情報収集専用の組織を設ける等が必要であり、広報部会中心に具体的にすすめる。 ・配布の資金調達案の説明。進学と就職の関係をあらわした図の小冊子の出版が考えられ、出版社への打診をしている、これを進める。 ・独立行政法人日本万国博覧会記念機構の国際相互理解・文化活動に関する事業、環境に関する事業などでは、られる。ICWES16(2014年 Los Angeles)を見 |

| | |
|--|--|
| | <p>据えて検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度の助成金の公募に関する情報収集は密に行い、内容に応じて理事会で企画担当者を選び依頼する。 <p>⑤ニュースレターについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未成年は掲載しない ・掲載にあたってはリスクを十分説明し本人の意向を確認する ・本人に文書で承諾をもらい、文書は本人を守るという趣旨で書く <p>以上の手順を踏み、従来通りホームページで掲載する。既刊については、承諾が取れ次第掲載を再開する。</p> <p>⑥部会ホームページの立ち上げについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会ごとに使いやすいソフトを求め、部会責任体制でページをアップする方針で進めている <p>⑦その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都河氏のお祝い会を女性技術者フォーラム（JWEF）との交流もかねて進める。 <p>(2) 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・23年度事業報告東京都へ提出し受理された。 ・14回技術サロンへの協力 東北支援事業として福島高専2名参加支援を行った。 ・国立高専機構とのホームページ相互リンクを行った。 ・夏の学校は女性技術士の会と INWES-Japan それぞれがブースをだし 協力体制で無事終了した。 ・ニュースレターVol.12 を発行した。 <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第15回技術サロンの招待事業は福島高専に打診中である。 ・監事よりの助言 会員拡大の方途を検討する必要がある。 ・次回理事会 10月1日 時間未定 以上 |
|--|--|

| | |
|---------------|---|
| 平成24年度 第2回理事会 | |
| 日時 | 開催日 平成22年6月2日（土） |
| 出席者 | <p>理事長：岩熊眞起</p> <p>理事：石田佳子、角田ふで子、酒井一江、氷上澄子、木村了</p> <p>監事：関矢英士</p> |
| 審議結果の概要 | <p>(1) 審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4期（24年度～25年度）は、3名の役員交代を予定し、次期役員として、犬走朱見氏、藤井由美氏を選任した。 <p>新体制に基づく、活動方針は以下のとおり。</p> <p>ア 部会のリーダーは各部会で決める。</p> <p>イ 今後は部会を中心に活動を行い、現在のリーダー会は解消する。</p> <p>ウ 各部会の活動状況が見えなくなることによるコミュニケーションギャップが起こらないように、理事会への適宜報告をおこなう。</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>エ イベントの参加や担当者の選任の呼びかけは、部会を通じて行う。</p> <p>オ 技術サロン（日本技術士会の主催）は要請に応じて講師派遣という形の協力事業と位置付ける。なお、学生の派遣費用支援は東北支援事業であるので、現状通り継続する。</p> <p>カ 外部資金の獲得のため、公募があれば積極的に応募する。</p> <p>キ ホームページを活用した研鑽や自己アピールの場を検討する。</p> <p>ク 科学系の団体、男女共同参画関連の団体への登録を進める。</p> <p>(2)報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長より総会において議案がすべて承認されたこと、理事会の若返りを予定していることを明らかにしたこと、意見交換会ではたくさんの意見が出され今後の活動に活かすことの報告があった。 <p>(3)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後のイベント（主催、共催、協力等）の確認を行った。 ・次回理事会 8月25日（土）、もしくは9月1日（土）午前 場所未定 以上 |
|--|---|

| | |
|---------|---|
| | 平成 24 年度 第 1 回理事会 |
| 日時 | 開催日 平成 24 年 4 月 21 日(土) |
| 出席者 | <p>理事長：岩熊眞起</p> <p>理事：石田佳子、角田ふで子、酒井一江、氷上澄子、木村了</p> <p>監事：関矢英士</p> |
| 審議結果の概要 | <p>(1)審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会の議案および資料について 事務局資料は、一部の文言修正ののち、資料どおり承認し、総会案内添付資料とすることとした。総会までのスケジュールを確認した。 ・理事会にて監事として現任関矢氏を選任した。 ・恒常的に活動している会員から 3 名の理事候補を推薦。正式に確定するまでは現体制を継続する。 ・総会後の催しは意見交換会とし、催しの主旨を木村が作成し、案内メールに入れる。 ・会員の部会振り分けは事務局で作業し早急に全体MLに流す。 ・「日中韓女性科学者技術者フォーラム」は本会が資金確保できるような参画方法を検討する。 ・プロジェクト細則の修正は事務局案で承認。 <p>(2)報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監事より監査報告受領 <p>(3)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回理事会 未定 以上 |